

子育てサロン にっこり・シルバーちゃん
安心して遊べる親子サロンが誕生！

9月12日、白河・西郷広域シルバー人材センターの「子育てサロン にっこり・シルバーちゃん」(結城)が開所し、オープンを祝いました。

サロンは国と本市・西郷村の助成金を受けて運営されるもので、生後6か月から未就学までの子どもと父母が対象。施設の利用料金は親子1組1か月100円で、同じ月なら何度でも利用できます。

鈴木市長は、「子どもたちを安心して育てられるようにサポートをしていきたい」と話しました。



▲サロン利用の問い合わせは☎09128まで

ラッピング広告車両出発式
風評被害からの脱却、走る広告塔に期待

9月4日、「ラッピング広告車両出発式」が市役所正面玄関で行われました。

原発事故による風評被害で市内の観光業がダメージを受けていることから、白河の関、南湖公園などの観光名所やラーメン、そば、だるまなどの特産品を描いたトラックと定期バスに首都圏などを走ってもらい、本市の魅力を県外に発信します。

小田川運輸(有)・(株)片桐運輸・(有)渡辺運送・(株)桜交通に協力していただき、11月まで3か月間運行します。



▲鈴木市長および関係者のテープカット

原子力災害における住民支援プロジェクト
放射線の知識を分かりやすく

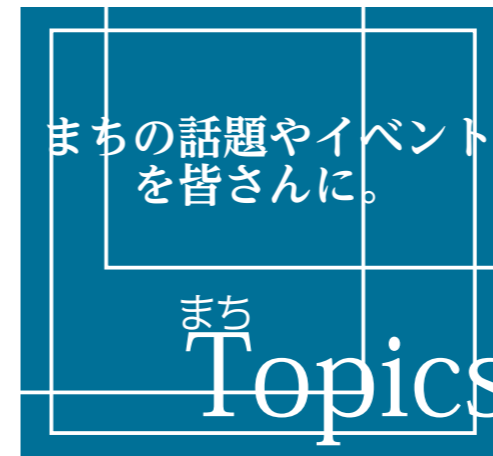
「震災復興に向けた連携・協力に関する協定」に基づく徳島大学の「原子力災害における住民支援プロジェクト」がスタート。本市の土壌汚染調査や放射線の正しい知識の普及などに取り組んでいます。

その一環として、「放射線講習会」が8月29日に中央中で開かれました。中学生向けの放射線教育のほか、精神的ストレス軽減のためのアドバイスなどを行いました。

今後、各小・中学校で順次開催していきます。



▲中山信太郎同教授の講演に耳を傾ける中学生



▲華やかで迫力あるステージ

白河復興応援プロジェクト
魂の応援に、いただいたのは「元気」。そして踏み出す「勇気」

9月2日、東日本大震災や原発事故からの復興にエールを送る「白河復興応援プロジェクト(東京六大学応援団連盟)」が市民会館(手代町)で行われ、会場に集まった約1,200人に勇気を与えました。

ステージでは、東京六大学応援団の本番さながらの力強い校歌・応援歌、華やかなチアリーディングや吹奏楽の演奏が披露されました。会場からは応援団を鼓舞する掛け声も飛び、ステージと客席が一体となりました。

また、会場の外では地元産の農産物の販売や餅つきが行われ、応援に元気づけられた市民でにぎわいました。



▲東京六大学応援団連盟がPRに来庁

日本都市開発が本市に進出
本市の雇用創出、地域経済発展の弾みに

9月11日、本市へ進出する(有)日本都市開発(盛岡市、滝村照男代表取締役)と堂山業務用団地(大信増見)における工場立地に関する基本協定および市有財産譲渡契約の締結式が行われました。

工場はツーパイフォー住宅建築用の床・壁・屋根建築用木製品などを製造します。用地面積は1万5,174㎡で、建築面積は8,300㎡の鉄骨造平屋建て。来年5月の操業予定で、当初は約20人、将来的には40人程度まで雇用を拡大する計画です。



▲「白河を盛り上げ、復興支援をしたい」と滝村代表取締役